

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）
に関するパブリックコメント等の実施結果について

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）について、パブリックコメント（意見公募）を実施しました。

実施結果の概要は、下記のとおりです。

記

1 実施期間 令和元年12月18日（水）から令和2年1月23日（木）まで

2 閲覧場所 市役所市民ロビーをはじめとする26か所及び市ホームページ
市役所市民ロビー・行政経営課、各市民センター・公民館、
東加古川市民総合サービスプラザ、中央図書館、加古川図書館、
ウェルネスパーク（案内・図書館）、海洋文化センター図書室、
総合文化センター、人権文化センター、総合福祉会館

3 意見募集の結果

(1) 意見提出人数 28人

【内訳】

意見箱：18人 電子メール：9人 郵送：1人

(2) 意見項目総数 35件

【内訳】

- ① 全般 3件
- ② 公民館 1件
- ③ 公民館以外の集会施設 1件
- ④ 図書館 25件
- ⑤ 福祉施設 1件
- ⑥ 消防施設 1件
- ⑦ 供給処理施設 1件
- ⑧ 斎場・墓園 1件
- ⑨ その他施設 1件

4 意見聴取会の実施

パブリックコメントの実施に合わせ、意見聴取会を実施しました。

実施結果の概要は、下記のとおりです。

実施場所	実施日時	参加者数	意見件数
平岡公民館	令和2年1月17日（金）午後7時から	7人	7件
ウェルネスパーク	令和2年1月18日（土）午前10時から	7人	1件
市民会館	令和2年1月18日（土）午後1時30分から	12人	8件
計		26人	16件

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
全般	全般	<p>「検討します。」が多用されているが、「どのように」「いつまでに」がすべて欠落している。せめて、令和8年度までを前中後期に分けて、デッドラインを設定すべき。相手方もあるので、困難を伴う場合もあるだろうが、だからこそ当該相手方と検討スケジュールについて合意を図った上で検討すべきである。</p>	<p>スケジュールについては、利用者や関係団体等と協議しながら、検討します。</p>
全般	全般	<p>人口減少で税収減が見込まれる中では、小手先の施設ごとの変更だけでは乗り切れない。 例えば、ゴミの処分関連施設の統合、図書館の統合などをすべき。防災には関係しない赤字幅の大きな施設は「現状維持」はあり得ない。 更には、博物館と図書館の統合など、施設の垣根を越えて統合して、建物の数を減らし、早期に売却するといったことが必要ではないか。</p>	<p>現在のニーズに対応できる、効果的・効率的な施設のあり方について、複合化等も含め検討します。</p>
全般	全般	<p>公共施設の統廃合は、これからの市の財政状況から必要なことだと理解するが、数字だけでなく、自分たちがどんな未来を望んでいるのか、どんな未来を子供たちに残していきたいのか、未来の風景を思い描いて、そこから今何をすればいいのかを考えながら、公共施設の在り方を考えていくことが大切。これは、市役所職員だけに背負わせる課題ではなく、市民全員が考える課題。そのために出来るだけ多くの人の声を聞いて欲しいし、自分たちも考える機会を作っていく必要がある。</p>	<p>公共施設の再編にあたっては、次世代への負担軽減に加え、市民の皆さまの満足度や幸福度の向上を図ることができるよう、ニーズ把握等を行いながら進めます。</p>
市民文化系施設	公民館	<p>東消防署の跡地は売却とありますが、東加古川公民館の跡地はどうなりますか。</p>	<p>東加古川公民館についても、東消防署と同様に移転を予定しているため、今後の方向性に『東加古川公民館は、加古川東市民病院跡地に移転した後、売却について検討します。』を追記します。</p>
市民文化系施設	公民館以外の集会施設	<p>農村環境改善センター、しろやま農業研修センター、地域産業振興センターについて、改築が必要な時期が来るまでは、機能の検討を行わないということか。</p>	<p>施設で行うサービス等についてはニーズの変化に合わせて見直しを行い、より多くの方に利用いただけるよう取り組みます。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
社会教育 系施設	図書館	<p>人口や商業施設などが最も集約している地域で気軽に行ける図書館が無くなると困る。他の3図書館は車やバスが必要で時間とお金がかかり足が遠のく。また、あれほど膨大な図書を子供達が気軽に読みに行けないもったいなさも感じる。</p> <p>例えば、明石市は駅前に大きな図書館があり便利。他市町村では公民館の一室に小さいながらも図書室があり、地域の小学生も気軽に入りにでき便利。遠くに足を運べない方や加古川駅方面に住む子供達の楽しみのために、加古川の中心部に図書館を望む。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>図書館は本の置き場所でも、貸本屋でもない。財政難を理由に、短絡的に市直営から切り捨てるものでもない。</p> <p>万が一、1館に集約されるとしても、市が責任をもって運営し、加古川市の教育・知識・文化水準を支えて欲しい。</p> <p>学校図書館と連携し、多くの子ども達に良い本を手渡せ読書の楽しみを伝えられる専門職を派遣し、図書担当教諭の相談に対応できる場所として、図書ボランティアの拠点、勉強の場として存続して欲しい。</p> <p>加古川図書館を児童図書館として残せないか。</p>	<p>図書館については、効果的・効率的な管理運営のあり方を検討します。また、学校図書館との連携をはじめ、図書館サービスの向上に努めます。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>建物自体が歴史あるものであり、市の重要な財産。また、加古川図書館は近隣の方々の本の利用に重要な役割を担っている。高齢の方も多くいる中で、図書館の重要性は時代が変わっても変わることなくある。市内4図書館内でスムーズに本の移送ができることも考えると、加古川図書館の蔵書数だけで判断するのは、早計ではないか。実際には、予約して本を受け取る方が非常に多い図書館である。ぜひ、存続させて欲しい。</p>	<p>加古川図書館の建物については、歴史的価値等も踏まえ、検討します。機能については、移転を検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>同じ規模でなくても、加古川駅前の百貨店内に移転してはどうか。神戸市（名谷駅前）で同じ案が出ている。百貨店にとっても、図書館にとっても、メリットがあると思う。</p>	<p>移転先については、民間施設等も含め、検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>図書館法に基づく図書館を1館とし、その機能を中央図書館に集約するのであれば、ウエルネスと海洋の図書館機能は「維持」することにならないのではないのか</p>	<p>ウエルネスパーク図書館及び海洋文化センター図書室については、図書館法によらず複合施設の1機能として設置しており、今後もこの方式を維持してまいります。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
社会教育系施設	図書館	<p>近くに図書サービスが有る方が便利なので、続けてもらいたいが、建物は古くて暗いと感じており、歴史的な価値は私にはわからないため保存は望まない。（建物としては、ウェルネスパークや高砂図書館のような形が良い。）</p> <p>サービスの継続を望むので、例えば、ニッケパークタウンの一画や、加古川駅のまち案内所で代替（予約図書の受取り、返却）をするのはどうか。</p> <p>建替えは金銭面等で大変だと考える。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p> <p>また、移転先については、民間施設等も含め、検討します。</p>
社会教育系施設	図書館	<p>加古川駅前にある図書館がなくなると、他の図書館は遠くとても不便。図書館は近くに残してほしい。</p> <p>本の受取りや返却ができる施設を増やしてほしい。例えば、高砂市の様に公民館や市民センターでできれば利用しやすい。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p> <p>また、他の公共施設での図書の受取や返却等、図書館以外で図書等を利用できる機会の創出に取り組みます。</p>
社会教育系施設	図書館	<p>経費面などから集約化は仕方がない方向に見え、1館か2館への集約化は仕方がない。人口集中部のみ有利であるのは好ましくないという意見はあるが、どこで線引きするかということと、費用対効果を考えれば、来館のしやすい場所に設置する必要がある。</p> <p>よって、中央図書館の継続と、できれば加古川図書館の現在の場所付近での継続が好ましいと考える。十分な運営管理費用があるのならば4館の継続も構わないが、他に経費の必要な施設があることから4館継続は難しいのではないかと。ただし、経費面のみで1館に集約するという判断は避けて欲しい。</p> <p>なお、廃止する図書館には、貸出返却機能のみを残す方法もある。</p> <p>現状、4館で同じような書籍を購入し、ほぼ同じようなタイミングで古い書籍を処分しているように思える。書庫の面積が有限であることから、書籍や資料の処分はやむを得ないこととされているようだが、古い資料を参考にしたいときに、処分されていたことがあるので、せめて4館のどこかに書庫を十分確保し、古い書籍及び資料を集中管理してほしい。</p> <p>もし、4図書館の再編を検討するならば、中央図書館と加古川図書館（建物が少々移動しても良い）を残し、他は廃止するとして、中央図書館に大きな書庫を設置して古い資料の集中管理をしてほしい。書庫の新設が無理ならば、ウェルネスパーク図書館の建物を集中書庫としてほしい。図書館機能は無くても良い。</p> <p>「電子書籍」や「電子化」とあるが、新しく出版される資料だけではなく、古い書籍や資料の電子化保存も検討されたい。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。なお、中央図書館、ウェルネスパーク図書館、海洋文化センター図書室については、現在の機能を維持します。</p> <p>また、図書の購入や保存については、管理方法や電子化等も含め検討します。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
社会教育系施設	図書館	<p>図書館の改廃は、財政的な都合で判断するのではなく、市内の中央部に必置すべき。再編計画（案）には、加古川中央図書館に「集約」とあるが、市内中央部の市民にとっては大変不便。</p> <p>加古川図書館の場所については、加古川駅周辺が最適と考える。明石市、播磨町、加西市等は、駅前に位置しており市民にとって利用しやすい。播磨地域の図書館の相互利用ができて、やはり生活圏内であるべき。</p> <p>今後の方向性に「図書館以外で図書等を利用できる機会の創出に取り組みます。」とあるが、具体的にどう考えているのか。</p> <p>加古川公民館の図書コーナーの充実と貸し出しサービスや、移動図書館バスについては、市北部の市民からは復活の希望をよく聞く。</p> <p>「身近に図書館を！」の声を大切にして、図書館が生活動線に沿ってあり、それらが有機的な組織体として存在することが必要。市民に均質なサービスが提供できるよう存続を願う。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p> <p>また、他の公共施設での図書の受取や返却等、図書館以外で図書等を利用できる機会の創出に取り組みます。</p>
社会教育系施設	図書館	<p>加古川図書館は、旧市街地に居住する市民にとってはなくてはならない施設。案は建物を保存する場合も図書館にはしないと読めるが、実に残念。しかし、加古川町に他の図書館と同様の規模の図書館が新しく生まれることには反対ではない。</p> <p>建物は老朽化しており、耐震性、雨漏り等の問題があるようだが、最新の建築技術により、再生させることは可能と思われる。</p> <p>市民、学識経験者、行政関係者などからなる委員会を立ち上げ、加古川図書館（旧加古川町公会堂）の保存と活用について、議論して貰いたい。</p>	<p>加古川図書館の建物の存廃については、様々な建築技術や意見等を踏まえ検討します。</p>
社会教育系施設	図書館	<p>共通の今後の方向性にある「図書館法に基づき設置する図書館は1館とし、その機能を中央図書館に集約する」「図書館以外で図書等を利用できる機会の創出に取り組む」とは、具体的にどういうことか。</p> <p>加古川図書館については、機能を移転する場合も公の乗物で子どもでも行ける場所にしてほしい。休止は反対。建物は保存する方法を考えて欲しい。</p> <p>公費負担の項目は、図書館には標記する必要はないと考える。</p>	<p>郷土資料や地方行政資料等の収集については、中央図書館で集中的に行うとともに、他の公共施設での図書の受取や返却等、図書館以外で図書等を利用できる機会の創出に取り組みます。</p> <p>また、移転先についても、他市の事例も参考にしつつ検討します。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
社会教育系施設	図書館	<p>老朽化で危険かつ維持するのが難しいのであれば、縮小してでも図書館に準ずる機能を持った施設としてほしい。特に子供たちが自転車や徒歩で行ける範囲で、かつ、本を読んだり、聞いたり、本に親しむことのできる、デジタルでは決して味わえない本の温かさを味わえる、心に響く施設を作って欲しい。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p>
社会教育系施設	図書館	<p>加古川駅に近く、市の中心エリアに存する加古川図書館は、これからも存続させてほしい。加古川小、加古川中、東高、西高も近くにあり、さらには幼・保・こども園も多く存している場所に建っており、本図書館は児童・学生が図書に触れる機会を創出し得る重要な拠点である。</p> <p>確かに、中央図書館やウェルネスパーク図書館は施設として立派であり、蔵書数も多いようだが、加古川図書館を利用してきた人々にとって、これらの施設は少々遠く感じるだろう。自力の移動手段が徒歩・自転車に限られる児童・学生にはなおさら、気軽に行けるような場所ではなくなってしまう。</p> <p>公設図書館の存在自体が市内の文教文化を維持するという象徴的な役割も担っている。加古川図書館はその存在自体が重要な文化の結晶であり、図書館として、近隣の子どもたちの教養の支えであることに意義がある。ぜひ図書館として存続させてほしい。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。 また、加古川図書館の建物については、文化的価値等も踏まえ、検討します。</p>
社会教育系施設	図書館	<p>建物が重要建造物に指定されていることを踏まえ、住民及び希望者が施設を活用できる状態でのPPPや民間への払い下げを含んだ活用について検討することを強く希望する。民間にサウンディング調査を実施するなど、関係部署間で協力し、市民の財産が市の魅力向上及び経済活動へ寄与するような活用方法を検討されたい。</p> <p>電子書籍等が普及したとはいえ、子どもを中心に電子媒体を自由に使えない、使えることを控えさせたい世代の娯楽や教養を得る手段としての図書の閲覧は重要。</p> <p>移転を検討する場合は、都心としての加古川駅周辺の魅力向上や活性化とも併せて、駅前の商業店舗の一部を賃借するなど、複合的な課題の解決を図るような検討を望む。</p>	<p>加古川図書館の建物については、民間による活用等も含めて検討します。 また、移転先については、他市の事例も参考にしつつ検討します。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
社会教育 系施設	図書館	<p>加古川図書館も再編計画の対象となっているが、他の建築物とは存在価値が違う。市の発展にとってかけがえのない対象であり、建築物の保存活用を望む。</p> <p>当建物は昭和25年の加古川市誕生の舞台でもあった。市政70周年を迎える今、85年の歴史ある建造物の存続を踏まえ、更に後世へ向けて地域の発展の象徴として活用して欲しい。</p> <p>加古川図書館の次の活用策としては、不特定多数が利用せずに済む点、建造物保存の技術的見地の点からも、郷土資料保存の機能を残すことは十分可能だと考える。</p>	<p>加古川図書館の建物については、歴史的価値等も踏まえ、検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>平成27年7月15日付で、日本建築学会近畿支部から「加古川市立加古川図書館の保存活用に関する要望書」を加古川市長に提出されているようだが、市はどのように返答されたのか。複数の建築専門家から耐震強度や補強工法を聞き取ってからの判断を望む。</p> <p>今後の活用方法として、本を読むだけでなく、子供の読み聞かせ朗読会、大人向けおすすめ図書の紹介する異業種交流会など、さまざまなイベント利用を行い地域コミュニティの活動拠点として開放することや、会員制のシェアスペース化、子育てサークルの活動や学童保育、ものづくり教室の開設等が考えられる。</p>	<p>加古川図書館の建物については、老朽化対策の方法やコスト、他の機能での活用の可能性等も踏まえ、検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>今後の方向性「図書館以外で図書等を利用できる機会の創出に取り組む」とは、具体的にどのように考えているか。その際、交通弱者や情報弱者である子供や高齢者、また経済的に苦しい人たちに対する配慮はなされるのか。</p> <p>多様性を尊重するこれからの世の中では他者の価値観を受け入れる許容力が大事。それは、デジタルではなくアナログによる偶然の出会いによって育まれる。そのためにも、「図書館の存廃」という視点だけでなく「図書に親しむ機会を増やす」「図書に親しむことで加古川の文化を創る」といった視点で検討していただきたい。</p> <p>加古川図書館はフルスペックの図書館としては確かに機能的に不足する部分があるかもしれないが、児童書や新聞・雑誌のみを設置し、その他の図書はネット貸し出しのみといった、利用者に応じた施設なら可能ではないか。加古川町で増えていると思われる子育て世代の人たちにどのようなサービスが適切かを踏まえて検討してほしい。</p> <p>建物は、図書館機能以外での利用方法はないのか。今後の維持費を前倒しして耐震補強を施し、民間等への貸付などは検討されているか。民間事業者へのサウンディング等を通じて、広く利活用について可能性を探ってほしい。</p>	<p>他の公共施設での図書の受取や返却等、一人でも多くの方が図書館サービスに親しめるように検討します。</p> <p>また、加古川図書館の建物については、民間による活用等も含めて検討します。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
社会教育 系施設	図書館	<p>長い年月の内に老朽化が進み、早急な対応が必要だと思うが、一定期間の移転・休止はやむを得ないとしても、廃止は絶対にあってほしくない。</p> <p>子どもたちにとっても本は心の栄養。青少年の健全な育成を心から願うならば、大人の私たちは心豊かに育てほしいとの願いを込めて、ぬくもりのある本との出会いの場を提供する責任がある。加古川図書館の存続を切に希望する。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>建物は文化財として地域の学習資料という形で保存してほしい。</p> <p>学ぶために学校があるように、知識を深めるために誰でも利用できる公共図書館が存在する。知識を深める場所が一つ無くなるということは、市民にとって、市の未来にとっても大きな損失。</p> <p>市内には図書館が他に3つあるが、小さな子どもを持つ人がわざわざ車で出かけなければならないのは相当ハードルが高いので、休止ではなく近くに移転という方向で検討してほしい。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>単に「移転や廃止」を考えるのではなく、「図書館を使って何を生み出すのか」という視点をもってほしい。</p> <p>移転することは、人の流れを変えることになる。JR駅前のヤマトヤシキに加古川図書館を移転させるよう働きかけられないものか。駅に隣接して図書館を設置する自治体は多い。人がもっと駅前に流れるよう、加古川市が駅前から活性化するよう、その一環として加古川図書館の今後を考えてほしい。</p>	<p>移転先については、他市の事例も参考にしつつ民間施設等も含め、検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>加古川図書館は存続してほしい。図書利用・啓発を優先して検討してほしい。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>遠くなると利用できないので、近くで造ってほしい。建物が建てられないのなら、駅の近くで受け渡しができる窓口だけでも設置してほしい。</p>	<p>他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p>
社会教育 系施設	図書館	<p>加古川が図書館は、図書館として機能しなくても、文化財として残してほしい。</p>	<p>加古川図書館の建物については、文化的価値等も踏まえ、検討します。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
社会教育系施設	図書館	<p>図書館は市の知的財産であり、市民の教育文化の充実を担う重要な場所。加古川図書館は一館に集約せず、もっと身近にあってほしい。存続を願う。</p>	<p>図書館法に基づく図書館は集約しますが、図書の閲覧や貸し出し等の機能については、他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。</p>
社会教育系施設	図書館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館以外の利活用について検討されたか。 2. 市の公共施設を、歴史性や文化的価値で評価した場合、本建造物はどのような位置づけとなるか。 3. 市民の中には旧加古川町公会堂（加古川図書館）の更なる利活用をしたいと考えている動きがあることは把握しているか。 4. 今回のパブコメを除き、本建造物について市民が利活用の提案を行える機会は設けられるか。 	<p>加古川図書館の建物の活用方法や保存に係る手法等は今後調査することとしており、建物の今後の方向性については多くの方に理解いただけるよう検討します。</p>
保健・福祉施設	福祉施設	<p>指定管理者制度の課題として、指定管理期間ごとに指定管理者が変更する恐れが常にあることがあり、とりわけ福祉施設では利用者と施設職員の人的な関係が密接かつ継続されることが望まれる。</p> <p>つつじ園について、市立であることへの利用者や保護者の「安心感」は理解するものの、事業の継続性の観点から、施設経営のノウハウが加古川市に豊富にあればモニタリング等で対応もできようが、そうでなければ優良な社会福祉法人に移管することを真剣に検討いただきたい。</p>	<p>ご指摘の課題については、市も認識しているところであり、事業者募集時の仕様書やモニタリング等により、事業の継続性や利用者及び保護者に安心して利用いただける施設運営を継続します。</p>
行政系施設	消防施設 ①	<p>加古川市の中央を加古川が流れていることを考えると、災害時に加古川に架かる橋がボトルネックとなることは容易に想定される。老朽化が進んでいる両荘分署と西分署を統合して、西消防署を設置してはどうか。（併せて、中央消防署を改築に合わせ、分署化も検討すべきである）</p>	<p>老朽化への対応に併せて、消防署・分署の最適な配置等についても検討します。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
供給処理施設	供給処理施設	<p>新クリーンセンターの今後の方向性で、建物は解体・撤去となっている。加古川市では以前よりゴミ減量に取り組んでいると聞いているが、解体・撤去となると、建物・施設は大きなゴミなので減量政策に反する行為と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも耐用年数はどの様に約束されていたのか。 ・耐用年数を延ばす取り組みはどの様にされてきたのか。 ・県内の他の同等施設と比べてどんな状況か。 ・他の都道府県の同等施設と比べてどんな状況か。 ・再利用される部品等は無いのか。 <p>令和4年度からは「広域ごみ処理施設」に機能が移される様だが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数はどの様に約束されているのか。 ・約束された耐用年数が短くなった場合、どなたがどんな責任を取るのか。 <p>ゴミ処理に係わる費用について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新旧の処理施設の各建設費は幾らか。 ・新旧の維持運用に係わる費用は年間幾らか。 <p>ゴミの減量化について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年ではどの程度の減量化がなされたのか。 ・生ゴミ資源化の実績は如何か。 ・ゴミ袋の規制化及び有料化が検討されているとの事だが、日常生活で出る生ゴミの量はそれほど多くないと感じている。 ・もし規制化を進めるのであれば、生ゴミ廃棄用の小袋のみは無償で各世帯に配布頂くべきだと思う。 	<p>国（環境省）が示すごみ焼却施設の耐用年数は、20年程度となっています。新クリーンセンターの管理運営にあつては、事業者と長期包括契約を締結し、修繕等も含めた一体的な運営を行っています。</p> <p>県内で同様に稼働しているものは27施設あり、うち2施設は建設後18年～22年間で休止、その他については現在も稼働中と報告されています。</p> <p>平成29年度時点において、国内の類似施設は980施設あり、国が示す耐用年数を目安に運営していると思われる。</p> <p>なお、新クリーンセンターについては、建設後20年が経過した後に解体されることから、部品等の摩耗や損傷など使用に耐えられない恐れがあるため、再利用は考えておりません。</p> <p>広域ごみ処理施設の運営期間についても、20年間で予定しています。施設の建設設計では30年程度の使用を想定していますが、20年を超える運営については、稼働状況等により検討していくことになります。</p> <p>現在稼働中の施設は建設に約256億円、高砂市に建設される新施設は約238億円（解体費含む）となっています。</p> <p>平成30年度の施設の運営管理及び調査等業務にかかる費用は約16億円です。新施設においてもごみ処理量に応じて維持管理費が定まるため、現在は未定ですが、ごみ減量の取組や広域での運営により、削減されると見込んでいます。</p> <p>新クリーンセンターの平成30年度の焼却処理量は、平成25年度と比較して22.3%の減量となっています。</p> <p>市として生ゴミ資源化事業は実施しておりませんが、電動式生ゴミ処理機等への購入補助（平成30年度 70件）、段ボールコンポスト無料配付（平成30年度 332セット）、食品ロス削減に向けた「おいしい食べきり運動」の協力店への登録（令和2年1月末現在 182店）など、生ゴミの減量を目的とした支援策を実施しています。</p> <p>平成29年度に実施した実態調査では、重量比で燃やすごみの31%が生ごみであるという結果となっています。</p> <p>令和3年6月より実施する指定ごみ袋制度では、ごみ袋の大きさを45リットル・30リットル・15リットルの3種類とする予定で、各家庭のごみの量に応じたごみ袋を使用していただくことになります。</p> <p>なお、燃やすごみを捨てる際にお使いいただくごみ袋については、これまでも購入していただいているものと考えますので、制度の導入に当たって、指定ごみ袋を無償で配布することは予定しておりません。</p>

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
その他	斎場・墓園	「炉の不足」が予想されるのであれば、単なる「適切な維持管理、修繕等による長寿命化」では対応できないのではないのか。	適切な維持管理、修繕等に加え、より効果的・効率的な管理運営に努めることで、今後予想される火葬件数の増加に対応したいと考えているところであり、課題をより明確にするため、『多死社会を迎えるにあたって、火葬件数の増加が予想されます。』と修正します。
その他	その他	シルバー人材センターについて、3分割されることで効率的な運営ができるのかを危惧する。市からの補助金の増額につながらないよう適切な指導を願いたい。	補助金の使途等については適切に指導します。

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関する意見聴取会の実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
全般	全般	今後の方向性は誰がどのように決めたのか。	市内部の会議体で決定しています。
全般	全般	公共施設等総合管理計画において、削減が必要な公共施設の床面積は、現在の23.4%となっており、多くの施設が廃止されてしまうのか。	単に施設を廃止をするだけではなく、必要な機能は維持しつつ、一つの建物に集約することで床面積を削減するなど、可能な限り利用者への影響が少ない手法で、公共施設の効果的な配置を目指します。
全般	全般	パブリックコメント以外で意見を反映できる場はないのか。	計画案の決定に至る前に、各施設に係る団体や地域の方々との意見交換を行ってきました。また、今回の意見聴取会も広く意見をいただく場の一つとして実施しています。
全般	全般	今後、再編計画はどのように決定されるのか。	意見聴取会及びパブリックコメントの意見等を参考に、市内部の会議体で決定します。
全般	全般	中期財政計画における必要経費の約38.8億円は、どのように決定したのか。	計画期間（平成28年度から令和7年度）に見込んでいる、公共施設の更新等に係る経費の平均額となっています。
全般	全般	施設を減らすだけでなく、魅力増のため増やすことはしないのか。	公共施設の床面積は削減しつつ、その機能については他の施設に集約するなど、市民サービスへの影響を最小限に抑える取組を検討します。
全般	全般	人口の減少は、今までの市の施策の結果ともいえるがどう考えるか。	人口減少については加古川市だけではなく「少子高齢化」という日本全体の問題であり、人口減少の幅が少しでも小さくなるよう取り組んでいるところです。
全般	全般	今後、高齢者や女性が働き続ける社会が見込まれるが、今後の施策はどのように考えるか。	全国的な課題であり、国の動きを注視しつつ、本市としても可能な施策を実施していきます。

加古川市公共施設等総合管理計画に基づく再編計画（案）に関する意見聴取会の実施結果について

大分類	小分類	ご意見等の内容	市の考え方
全般	全般	地域の方がいかに喜んでもらえるかが大切である。施設の廃止にも経費は必要。慎重に検討していただきたい。	市民の皆さまの満足度、幸福度の向上を図ることができるよう検討します。
社会教育系施設	図書館	図書館のうち、加古川図書館のみが休止となるのはなぜか。	建物について、建築後80年以上が経過し老朽化しているため、そのまま図書館として使いづづけることは困難と判断したためです。
社会教育系施設	図書館	加古川図書館について、今後、どのように図書館サービスを維持するのか。	機能は移転又は休止を検討しており、移転先が見つからない場合は休止の可能性もありますが、利用者への影響が最小限となるよう検討します。
社会教育系施設	図書館	加古川図書館について、休止となると利用者にとっては大変不便。予算などの課題は理解できるが、図書館が無くなることは市として大きな損失となる。図書館の存在が何に繋がっているのかを意識して取組を進めて欲しい。ぜひ存続させて欲しい。	他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。
社会教育系施設	図書館	未来を担う子どもたちのためにも、図書館は存続させてほしい。	他市の事例も参考にしつつ、移転先を検討します。
その他	普通財産	遺族会館を移管した場合は、移管はどこに対して行うのか決定したのか。	関係団体等と協議しながら検討します。
その他	普通財産	移管先が修繕を行っていくことになるが、法人格がなくても移管できるのか。	不動産登記には法人格が必要となるため、移管先に法人格を取得していただくことも含めて協議します。
複合施設	複合施設	総合文化センターについて、周辺施設と一体的な活用とはどういうことか。何かが廃止されるのか。	互いの施設が強みを生かし、魅力を向上させるという主旨であり、何かを廃止して一つにするという意味ではありません。